

キャラクター名
大日向 輝(おおひなた てる)

プレイヤー名

シンドローム	エンジェルハイロウ	ワークス	UGNチルドレンB	カヴァー	高校生
	エンジェルハイロウ				
オプション		年齢	17歳	性別	男
覚醒	犠牲	衝動	殺戮	初期侵食率	34 %
出自	天涯孤独	経験	心の壁	邂逅	主人

	基本値	ワークス	ボーナス	成長	他修正	能力値	HP	24
肉体	0	0	1			1	行動値	16
感覚	6	1	0			7	(非装備時)	16
精神	2	0	0			2	戦闘移動	21
社会	0	0	1			1	全力移動	42

肉体			感覚			精神			社会		
技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正
白兵			射撃	5		RC	1		交渉		
回避	3		知覚			意志	2		調達	2	
運転:			芸術:			知識:			情報: UGN	5	
運転:			芸術:			知識:			情報:		
運転:			芸術:			知識:			情報:		
運転:			芸術:			知識:			情報:		
運転:			芸術:			知識:			情報:		

武器・コンボ	能力	命中値	G値	攻撃力	射程	メモ
		0				

防具	価格	装甲	回避	行動	メモ

所持品	
思い出の一品	

合計装甲: 0 合計回避: 0

ロイス				
対象	感情(pos)	感情(neg)	タイ	消費
"E"	P 感謝	N 不信任		
夜墨影斗	P 友情	N 劣等感		
霧谷雄吾	P 誠意	N 不安		
佐和山光彦	P 好意	N 隔意		
八重樫若菜	P 尊敬	N 悔悟		
三賀濤	P 親近感	N 恐怖		
セオドア・グリフィン	P 連帯感	N 脅威		

最大財産P: 6 残り財産P: 4

スキル名	SL	コスト	タイミング	射程	対象	判定	制限	メモ
ワーディング	★	-	オート	視界	シーン	自動	-	
効果: 非オーヴァードのエキストラ化								
リザレクト	0	1d10	気絶時	-	自身	自動	↓100	
効果: コスト分のHPで復活								
C:エンジェルハイロウ	2	2	Xジャー		シンドローム			
効果: クリティカル値-Lv(下限値7)								
光の銃	2	2	セットアップ	至近				
効果: 射撃武器作成。シーン間継続利用。攻撃力+(Lv+2)、射程:視界								
天からの眼	5	2	Xジャー/リアクション			<射撃>		
効果: 判定のダイスを+Lv個								
小さな塵	5	2	Xジャー	武器		<射撃>		
効果: 組み合わせた攻撃の攻撃力を+Lv*2								
光の裁き	2	5	Xジャー		単体		ピュア	
効果: 判定ダイス+(Lv*2)/ドッジ不可の射撃攻撃。1シナリオに1回								
真昼の星	★							
効果: 望遠鏡								
ウサギの耳	★							
効果: 良く聞こえる								
効果:								
効果:								
効果:								
効果:								
効果:								
効果:								
効果:								
効果:								

エフェクトについての優柔不断ログ: <https://fusetter.com/tw/1HyQZP6Y#all>

・天涯孤独/心の壁
元々引込み思案で、空気を読む事と人の目を見て話す事が苦手だった。幼稚園でも隅で静かに一人遊んでいる事が多かった。それでも「無理しないでいいんだよ。好きに生きていいんだよ」と温かく見守ってくれた両親が大好きだった。3歳の頃に両親が他界。重なった休みで輝にプレゼントを買ってあげようと思いついた帰りに事故に遭った。その後両親の親族の元に引き取られるが、生来の性格と両親を失ったショックでさらに内にもこもるようになり上手くコミュニケーションが取れない。親族から見れば可愛げのない子供。そのせいで他の親族の元に預けられ、を数度繰り返す。愛想よく出来ない輝に嫌気が差す『他人』の親族たちの元、尚更人付き合いが下手になっていく。最終的には預かれる親族が居なくなり、5歳で施設に引き取られる。施設でも相変わらず人付き合いは苦手だった。「全然似合わない名前だよ」と言われた一言がずっと胸に刺さって抜けない。大好きな両親に貰った名前に恥じる事も、それを変えられない事も情けなくて、それでも勇気が出なくて、結局黙って引き下がる事しかできないまま日々を過ごしていた。基本的に小声でもによも話す。自分の出自について聞かれると話を逸らすのがめっちゃ下手。見つめ合うと素直におしゃべりできなくて冷や汗だらだらかいて拳動不審になる。

…のだが、慣れた人間とは比較的スムーズに話せる。『友達になりたい』と思える相手がちょっとだけ増えた。今はまだ胸を張って言える勇気が無いから、もう少しだけ待っててね。